

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2019. 5. 23

いきいき なかよく ほこりを持って 第4号

# 自転車の事故を防ぐ ～データをもとに考える～



5月11日(土)から「春の全国交通安全運動」が始まりました。暖かくなり、子ども達が自転車で移動する機会も増えています。そこで、文部科学省から発表されたデータから、自転車に関わる事故について考えてみました。

平成30年に全国で発生した「自転車関連死亡・重傷事故件数」は8,660件で、このうち、「死亡事故」は454件。年々減少傾向にはあります。では、まず、データから読み取ることができる事故の「傾向」をご紹介します。

- ◆ 77%は、「自動車」との衝突事故。
- ◆ 56%は「出会い頭」の事故。
- ◆ 児童生徒の事故としては「高校生」が最も多い。次いで中学生、小学生の順。登校時が多い。
- ◆ 死傷した中学生・高校生のうちヘルメットを着用していたのは、中学生で4割、高校生で1割。
- ◆ 死亡原因の61%は、「頭部」の損傷。ヘルメットをかぶっていなかった場合の致死率は、かぶっていた場合の2.5倍。
- ◆ 小学生の事故のうち31%が、友達の家などへの「訪問」の際に起きている。学校から家に帰ってからの時間に多い。
- ◆ 自転車を運転していて事故に遭った人のうち、約8割が「法令違反」を犯している。
- ◆ 自転車に乗っていて、「加害者」になったケースの38%は20歳未満。子どもが事故の加害者になる場合があるということ。事故発生の場所は、約4割が歩道の中。

こうした傾向から、

- ヘルメットの確実な着用
- 一時停止の確実な履行
- 自転車運転の技術指導、規則やマナーの徹底
- 自転車整備の徹底



など、いわば「当たり前」のことを更にしっかりやる」という対策が必要なのが見えます。警察や行政、自動車のメーカーなどをお願いしなくてはならないこともありますが、やはり「当たり前の徹底」以外に事故を防ぐ手立てはありません。どうすれば事故を防ぐことができるのか、どんな意識が必要なのか、ご家族でぜひ話し合っただけであれば幸いです。

# 学校のことを知ろう！

## がっこうたんけん



5月16日（木）1年生の子ども達が、生活科の学習で「がっこうたんけん」を行いました。班に分かれて、学校の中をめぐり、観察したり、インタビューしたりしながら、教室の場所や役割、それぞれの先生方の仕事などについて調べます。担任の先生からは、「しっかりあいさつすること」「名刺を渡して自己紹介すること」「わかりやすく質問すること」などの課題が出されました。

入学以来、様々な学習を行い、学校生活にも慣れてきたこの時期ではありますが、「だいたい」覚えた学校の中を探検しながら、疑問を解決したり、詳しく観察したりすることで理解が深まるわけです。練習もだいぶしたのでしょうか、挨拶や礼儀もしっかりできましたし、質問も上手にできていました。こうした活動を積み重ねながら、学校への所属感や愛校心なども次第に作られていきます。



## 4年生が消防署を見学しました



5月20日（月）、4年生が、西置賜行政組合長井消防署を見学に行きました。施設や設備を見学したり、消防士等のお仕事について教えていただいたりしてきました。私たちの日々の暮らしを「安全・安心」なものにするために、それぞれの役割を果たしてくださっていることがわかり、改めて、その大切さについて考えた見学でした。子ども達が一番驚いたことは、消防士さんが「15mのはしごを15秒以内で登る」ということでした。毎日のトレーニングと訓練の賜ですね。すごい！



## 5月31日は祖父母参観日です！皆さんのお越しをお待ちしております！